

映画『壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記』

トークイベント付き上映

ジャーナリストの川上泰徳氏が2023年10月7日以降のパレスチナ・イスラエルを取材したドキュメンタリー『壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記』がKBCシネマで公開されます。11月9日(日)の上映終了後に本学ことばの力養成講座主催で川上監督による舞台挨拶を兼ねたトークイベントを行います。聞き手は西日本新聞記者で本学法学部卒業生の内藤梨花さんです。

[HTTPS://KBC-CINEMA.COM/BLOGS/NEWS/11-9BUTAIAISATTU](https://kbc-cinema.com/blogs/news/11-9butaiaisattu)

日時:11月9日(日)午後

場所:KBCシネマ(福岡市中央区那の津1-3-21)

登壇者:川上泰徳(本作監督、フリージャーナリスト。元朝日新聞社中東特派員)

聞き手:内藤梨花(西日本新聞社記者、西南学院大学法学部2025年卒)

川上 泰徳(かわかみ・やすのり)

1956年生まれ、長崎県出身。大阪外国語大学アラビア語科卒。学生時代にカイロ大学留学。朝日新聞に入社し、高知支局、横浜支局、東京本社学芸部を経て、国際報道部へ。カイロ、エルサレム、バグダッドなどに駐在し、パレスチナ紛争、イラク戦争、「アラブの春」などを現地取材。中東報道で2002年度ポーン・上田記念国際記者賞受賞。15年からフリーランス。著書に「中東の現場を歩く」(合同出版2015)、「『イスラム国』はテロの元凶ではない」(集英社新書2016)、「シャティーラの記憶 パレスチナ難民キャンプの70年」(岩波書店2019)、「戦争・革命・テロの連鎖 中東危機を読む」(彩流社2022)などのほか、ガザ戦争が始まってから「ハマスの実像」(集英社新書2024)を刊行。

映画について [HTTPS://OUT-IN-THEWALL.COM/](https://out-in-the-wall.com/)

2023年10月7日、イスラエルに「壁(分離壁)」で封鎖されたパレスチナ・ガザ地区からイスラム組織ハマスが越境攻撃を行い、それに対してイスラエル軍は「壁の向こう」へ凄まじい報復攻撃を行った。死者は5万人を超え、そのうち1万8000人以上が子どもという惨状で、いまだ停戦の兆しが見えず犠牲者は増え続けている。外国人ジャーナリストがガザに入ることが困難な状況のなか、翌24年7月、川上監督は同じく壁で分離されたパレスチナ・ヨルダン川西岸地区に取材に入る。パレスチナ側のベツレヘムからヘブロン、さらに映画「ノ・アザー・ランド」の舞台にもなったマサーフェル・ヤツタも訪れ、イスラエル軍による攻撃・破壊やユダヤ人入植者の暴力を目の当たりにする。一方、イスラエル側では国民の多くが壁の向こうの惨状を知らずにいるなか、兵役を拒否する3人の若者がいた。壁の外側と内側の現状を生々しく映し出し、イスラエルとパレスチナの戦争の背景を浮かび上がらせていく。

主催:西南学院大学ことばの力養成講座(法学部・田村元彦)